



宇都宮義真撮影

「潮干狩り」



乾物屋

顕微鏡を発明した

牧師 (オーストリア)
メンデル

- 病原性微生物の確認、狂犬病予防注射の発見
- 飛行機の発明
- 自転車屋 (アメリカ)
- モールス信号
- 肖像画家 (アメリカ)
- ライト兄弟
- 紡績機の発明
- 理髪師 (イギリス)
- アークライト
- 酸素、窒素等の発見
- 伝道師 (イギリス)
- ブリストリ
- 音楽家 (ドイツ)
- 天王星の発見
- ハーセル
- 微分法の発見
- 法律家 (ドイツ)
- ライプニッツ

- ブリースニツの温罨法
- 農業 (オーストリア)
- メンデルの遺伝の法則
- ブリースニツの温罨法
- 農業 (オーストリア)
- メンデルの遺伝の法則

新しい治療法

等、枚挙にいとまがありません。え制度、学理が未熟でも民衆から信頼されていることがあります。す。一般的にこのような治療法は、各人の自然治癒力を高めることを第一にしておりますので、例

う。オランダのリューヘンホックですが、職業は乾物屋です。次に若干の実例を挙げてみます。○ ブリースニツの温罨法

昭和13年2月1日発行
—素人大家出でよ—
より要約した

ことは、当時の新聞に報道されましたから既に皆さんも御承知のことと存じます。

このように世上には素人の発見、発明が案外多いのです。例えれば、現代医学に計り知れない貢献をした顕微鏡を発明したのはオランダのリューヘンホックですが、職業は乾物屋です。次に若干の実例を挙げてみます。

一昨年の夏 (昭和11年)、世界に集まつた学者の中に混じつて見物に出かけた長野県の五味一明君 (26) という床屋さんが、トカゲ座に新星を発見して世界中の専門大家をアッと言わせたことは、当時の新聞に報道されましたから既に皆さんも御承知のことと存じます。

病気の治療に関しても、新しい治療法が度々素人によつて創案され、専門大家がサジを投げたような患者が、専門家からは根拠に乏しいとされる療法で全快したと言う話を時々耳にします。その上、むしろ今後も、一〇〇%科学的根拠のある治療法です。而もその特徴はどんな素人でも使えると言うことです。今までにも随分面白い意外な治験例が多数報告されています。その上、むしろ今後は、中から、近代医学の常識を越えた新治験例がもたらされるのではないかと、大なる期待を持つて見ている次第です。

サナモア光線療法は学理面で未解明な点が多々あるとしています。その上、むしろ今後も、一〇〇%科学的根拠のある治療法です。而もその特徴はどんな素人でも使えると言うことです。今までにも随分面白い意外な治験例が多数報告されています。その上、むしろ今後も、一〇〇%科学的根拠のある治療法です。而もその特徴はどんな素人でも使えると言うことです。今までにも随分面白い

サナモア光線療法

素人大家出でよ

宇都宮 義真

宇都宮 義真

危篤の知らせ

私が幼年の頃から青春時代にかけて、ある事情のために一方ならぬご恩を受けた母方の親戚のおばが、医師から「会わせたい人がいたら早急に会わせるようにしてください」と危篤を告げられたという知らせが舞い込

老衰に脱水症状を伴った一治験例

— 恩人の恩に報いる —

前田光線治療所

前田 ミサ

の望みを抱いて次々に集まつて飛んで行きました。おばの家は近県の人だけでなく、関西、四国、中国地方の近親者が一縷

上に布団を掛け、その上に電気毛布をかけておしめをしていましたが、床ずれが痛々しくて苦しそうです。往診してくれる医師の見立は確かにして、それ以上は分からぬようでした。おばの病状について家族や見舞客の話では、お医者さんのい

う通りに治療はして貰っているが、食欲が全くなく食事を摂るうとしないばかりか、少しでも樂になるように体に触ろうとすると、骨や関節が痛むのか、痛が、困り果てているとのことでした。ため、傍で病人を見ているだけで看護の仕様もなく、どうにも困り果てているとのことです。おばは八三歳と

なんだのは、今から4年前の3月のことです。おばは寝巻きを2、3枚着た

上に布団を掛け、その上に電気毛

老衰と診断

毛布を掛けていました。これで

はいくら寒がりでも着過ぎです。聞けば3月までの一冬の間、ずっとこのような厚着で暮してい

るといいます。私は直感的に脱水がある、おばの症状は脱水症状だと判断しました。この判断は絶対に的中していると思いま

は何時出てもよいように袋を付けておしめをしていましたが、床ずれが痛々しくて苦しそうです。往診してくれる医師の見立は確かにして、それ以上は分からぬようでした。

おばの病状について家族や見

舞客の話では、お医者さんのい

う通りに治療はして貰っているが、食欲が全くなく食事を摂る

うとしないばかりか、少しでも

樂になるように体に触ろうとす

ると、骨や関節が痛むのか、痛

が、困り果てているとのことです。

おばは寝巻きを2、3枚着た

上に布団を掛け、その上に電気毛

布をかけていました。これで

はいくら寒がりでも着過ぎです。

聞けば3月までの一冬の間、ず

っとこのような厚着で暮してい

るといいます。私は直感的に脱

水がある、おばの症状は脱水症

状だと判断しました。この判断

は絶対に的中していると思いま

した。

早速、家族に話して電気毛布

を取り去りました。そしてリン

ゴ汁で出来るだけ水分を補給し

てから10~15分したところで、

3人

の手を借りて出来るだけ静かに

横に、2、3枚着ていた寝巻

きを注意深く丁寧に脱がして一

枚の寝巻きに着替えて貰いました。脈拍は幾分かぼそい感じで

した。脈拍は幾分かぼそい感じで

したが、しっかりと少しうま

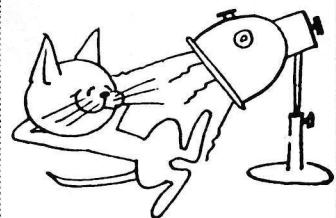
いのでやや安心しました。

横に、2、3枚着ていた寝巻

きを注意深く丁寧に脱がして一

沙路まで往診した。
一瞥して大変な患者と思った。
顔は浮腫み、腹には水が溜まつて腫れており、足はカチカチに膨らんでいた。顔色は蒼白で、尿は極少量しか出ないと言う。えらい処に来たと心配になつたが、出来るだけの事をして上げるしかないと思い直し治療を始めた。
今から35年以上昔の冬のことである。
療法経過 A Aカーボンで、足裏20分、腹5分、膝10分、腰10分、背5分、小脳（後頭部）

星一ノ口ノ七



—治驗例報告—

5分（二号集光器使用）、顔5分（目をつぶり）と、初回でもあり時間はこれくらいにして、神の救いを念じながら照射した治療を終えて帰り際に、母親にこれから3時間位して尿が少しでも出たら奇蹟と思って喜んでくださいと話し、明日も治療することを約束した。

■編集者注　この症例は上野先生が昭和27年の冬に光線療法を受けた治験例です。その当時は未だネフローゼに有効な薬剤はなく、治療の非常に難しい病気の一つである。ウエノ光線療法、上野貞氏報告

た通り三時間過ぎたところで「尿が少し出来ました。」と言つたので正直私も驚いた。それから週間通つて治療を続けた結果、尿量が増して患者の浮腫みは日に日に改善していく。

なおれフローゼの治療に関する
て、昭和61年10月1日発行の「健
康と光線」に、日光療法の先達、
正木博士が昭和の始めて報告し
たネフローゼの文献を引用した
際にも書きましたが、現在病院
でネフローゼの治療に使われて
いるステロイド療法（副腎皮質
ステロイドホルモン）は昭和30
年代になつて使用されるようにな
つたのです。

最近サナモア中央診療所に於
いても、ネフローゼが再発を繰
り返し、ステロイド離脱困難（中

愛用者だより

☆オデキ

北海道白老郡 加藤 正
一昨年よりサナモアを愛用
させて頂いております。

☆鼻閉に劇的な効果

藤沢市 本多 順子
三年まえ知人に勧められサ
ナモアを購入しました。以来

である。

沙路まで往診した。
一瞥して大変な患者と思った。
顔は浮腫み、腹には水が溜まつて腫れており、足はカチカチに膨らんでいた。顔色は蒼白で、尿は極少量しか出ないと言う。えらい処に来たと心配になつたが、出来るだけの事をして上げるしかないと思い直し治療を始めた。
今から5年以上前の冬のこと

二、伊が薫を出し乍時、肩凝りの時、切り傷の止血など最

が変わったのではないかと喜んでおります。本当に有難うございます。

主人は医者ですか、座骨神経痛で苦しんだ時痛みが楽になり大いに助かりました。これからも一生懸命に利用し、私の高血圧や肩凝りも治したいと思っております。

以来サナモアを健康管理に愛用している。

とした患者には毎日通院して貰つて治療したところ血圧は安定した。体調はすこぶる良好となつた。また脱毛部は、三ヵ月目頃から白い産毛（うぶげ）が生えたり抜けたり五回ぐらい繰り返したが、五ヵ月目頃から黒い髪の毛が生え始め、六ヵ月目には生えそろつた。それまでは健常管理に委

☆高血圧症・円形脱毛症

止すると思悪化するため止められなくなる)な症例に光線療法を併用したところ、離脱することに成功した例があります。これら一連の治験例から、ネフローゼの治療に光線療法を併用する利点は明らかです。

サンモアカーボンの 類似品にご注意下さい

全国書店にて販売中
（株）日本書店

卷之三

症状　患者は高血圧症の治療を希望して来院したが、円形脱毛症に罹患していたので一緒に光線療法を行った。

療法経過　カーボンは脱毛部（頭部）にはACカーボンを組み合わせて使い、他の部位にはAカーボンを用いた。照射部位ならびに照射時間は、脱毛部30分、顔5分、腹10分、腰10分、膝5分、足裏10分、後頭部5分

ボンに「光線療法學」をセツトした
と効果が同じという根も葉もないう
付して販売している業者がいます。
道理にもとる行為をする者が何時
研究所としては他社製カーボンを使用
て一切の責任はもてませんので、各々
には、製造元ビデン株式会社の商
づついてます。」

(1) 古代の黄金時代

太陽は人類の歴史が始まって以来、全能のシンボルとして崇拜されてきました。未だ人知の畏敬の対象であり、尊嚴的で開けていなかつた古代社会に於いて、太陽は幸福の象徴であり、崇められていました。

当時の人々は、太陽光線には健康に役立つ保健効果ならびに病気に對する治療効果があると信じていました。勿論、今日のようく科学に基づいたものではありませんが、医療面で積極的に利用した事実が、文献や遺跡から確かめられています。理論以前に実際の効果を重んじたためでしょう。

古代ギリシャでは、三〇〇〇年以上前に太陽光線を治療用の光源として利用して日光療法を行つた記録が残されています。古代ギリシャ人は日光浴場で全裸になり、全身の日光浴を好んで行いました。紀元前一〇〇〇年頃、ゼウスの子アポロが太陽神として崇められ、その息子エスキュラピウスは最も有名

な医師として知られていきました。

エジプト人は紀元前二〇〇〇年頃の第五王朝時代、太陽神ラ

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

が古代遺跡

にされていました。紀元前一三五〇年頃の第十八王朝のアメノファス四世（ツタンカーメン王の父）は、唯一神アトン（太陽の円盤の意）を信仰し、名をア

クナトンと改めました

ペルシャでは、紀元前六世紀頃までに太陽と火を崇拜するゾロアスター教が全土に広がりました。日曜日を Sunday、即ち太陽（sun）の日と叫うのは、ゾロアスター教に源を求めることが出来ます。

古代ローマでは、紀元前一、三世紀頃には浴場には必ず日光浴室を設け、各家庭にもソラリウムと呼ぶ日光浴室がありました。当時の博物学者ブリニーは「太陽は最良の薬である。 Sol maximum remediorum est.」と説き、ナポリ地方には「太陽の來ない家には医者が来る。 Dove non va il sole, va il medico.」と叫う諺がありました。

古代は、すべての人々が素直

日光療法の歴史



古代の黄金時代から近代の復興

医学博士

宇都宮光明

に紀元前一四〇〇年頃、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

（紫外線）に対する感受性を高め、日光浴や日光療法を行つたこと

(2) 日光療法の搖籃期

現代医学の祖とされる医聖

ヒポクラテス（紀元前四六〇年生）はギリシャのコス島に健

康大寺院を建立し、日光療法を本格的に医療の場に取り入れて

意欲的にその効果について検討して、次のごとく述べています。

「日光の光と熱は、すべての創傷、殊に開放性骨折、破傷風等に効果がある。筋肉の強壮を

要である。而も春夏秋冬必ずその直射を受けねばならない。脂

肪性の肥満した人は、出来るだけ行つてアメリカのフィッソン

トリック等によって漸く再評価

されています。この治療法は近年になってアメリカのフィッソン

によって再評価されています。この人々の考

えを背景に、太陽光線を利用し

た日光浴や日光療法は人類最古の治療法の一つとして用いられたのです。アレキサンダー大王が樽の中に住んでいた哲学者ダ

イオゼネス（紀元前四世紀頃）

に「何か望むものはないか」と

問うたのに対し、「そこをどう

て日光浴の邪魔をしないで下さ

い」と答えたと言う有名な逸話

に、「何か望むものはないか」と

(五ページからつづく)
け裸で歩き回るのがよい。但し

ないよう注意し、主として背
部を曝し、頭部は必ず何かで覆
わねばならない。」

西暦紀元一五〇年頃の外科医

アンチロスは、「如何なる患者
も成るべく日光に当たるように
すべきである。傷は新しい古い
に關わらず日光に曝すが良い。
また動ける患者はもとより、寝
たきりか座ることしか出来ない
患者も、布団や毛布の上に寝か
せたり砂上に横たえたりして、
出来るだけ日光に当てなければ
ならない。」

患者に日光浴をさせれば、

内臓の分泌作用が高まり、発
汗を増し、筋肉を強くし、脂肪
の蓄積を防ぎ、腫瘍を縮小し、
浮腫を減づる。また呼吸は深
く活発になるから胸部が狭い
人は拡大し、肺臓を強くして
肺の病気には好結果が得られ
る。

実際に日光浴をさせる際に注
意することは、便通をよくして
腸を空虚にし、頭を覆うことで
ある。」と述べていますが、そ

の慧眼は光線の作用を正に的確
に捉えています。

防ぐ目的で日光消毒を行ったこ
とです。

近代の日光療法の先駆けとな

ったのは、18世紀中頃に日光療
養所を開設した医師でないオー
ストリアのアーノルド・リック
リーやフランスのボンヌーとさ

れています。その後、18世紀後

半から19世紀にかけて、いよい

よ日光療法は近代的な発達を遂

げます。ベルトランは一七九九

年に、日光療法の適応症として

「くる病、リウマチ、麻痺、腫

脹、水腫、筋力低下など」をあ

げました。また一八一六年には、

ドオベライナーが日光の作用を

熱線（赤外線）と各色線（可視
線）とに区別して説明していま

す。それからもエーベルマイヤ
ー、ヒルシュ、ハインリッヒな

どによって確たる治療効果が着

実に積み重ねられたのです。

そして一八七七年に、イギリ
スのダウヌスとブラントが太陽

光線の殺菌作用を発見し、次い
でストゥレーベルが殺菌効果は

紫外線の作用であることを明ら
かにしたことが契機となつて、

日光療法は飛躍的な発展を遂げ
るに至つたのです。

(3) 中世の暗黒時代

中世はあらゆる分野で科学が

衰退した時代です。キリスト教

が広まるに連れて病気の治療は

専ら薄暗い教会や寺院の中を行

われ、日光療法や太陽崇拜は異

教徒の行為として排斥され、日

光浴すら罪悪視されました。し

かしアラビアの王室付医師アビ

センナ（西暦紀元一〇〇〇年頃）

のよう病気の予防に日光浴が

有効なことを説いた勇気のある

人もいました。

(4) 近世の復興

十四世紀に入り古代文化の復

興と人間性の解放を唱えたルネ

サンス「文芸復興」が起り、

その動きに呼応して太陽光線も

見直される兆しが出てきました。

中でも殊に興味深いのは、西暦

一三七七年にヨーロッパ全土を

席巻したペストの大流行の際に、

未だ細菌も紫外線の殺菌効果も

知らない人々が、悪疫の蔓延を

（本紙の無断転用を禁止します。）

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)793-1528

宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛申込み下さい。

医学博士
宇都宮 光明



サナモア光線協会
趣意書